

” With コロナ時代の連研を考える “

§ はじめに

◆ 連研とは

「連研」について

「連研」の正式名称は、「門徒推進員養成連続研修会」です。

「連研」がめざすのは、僧侶と門信徒がともに「現実の私と社会の問題を法に問い、聞き、語り合う」ことで、互いに念仏者としての自覚にめざめ、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を推進していくことです。

「連研」は、講義形式だけでなく、「話し合い法座」も行われます。僧侶が一方的にお話しすることが多いご法話と違い、お互いの意見を「聞き合う」ことによって、答えの出なかった人生の問いや、お互いの思いを共有することができる場が「連研」であり、「話し合い法座」です。

3. 本当の「なかま」とのであい

日常抱えている悩みや思いを本音で語り合い、聴き合い、向き合うことによって、「お付き合い」の関係ではなく、ともに歩むなかまとなっていくことのできるのが、「連研」です。

「連研」参加者の声

- 自分の生きる道がわかったような気がする。
- 同じ気持ちの方がいたことによって、楽になれた。
- 死んだらどうなるのか不安で仕方なかったが、教えを聞いて、心が少し楽になった。
- お浄土と天国の違いがわかった。
- お仏壇の正しいお飾りが納得できた。
- 「浄土真宗のみ教えに生きる」ことの意味がわかった。
- お寺や僧侶が親しみやすくなった。

本願寺ホームページより一部抜粋
(検索ワード:本願寺 連研)

「連研」をすすめていくうえで大切なことは、話し合いの中で、自らの悩みや考えていることを、み教えに問い聞いていくということです。それによって自らの課題があきらかになっていくと同時に、自らと同じように悩み苦しんでいる人が隣に座っているのだと気づかされていく、つまり、自他共の問いをあきらかにしていくことになるのが「連研」の話し合い法座なのです。(本願寺ホームページより)

◆「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)とは

自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現のために。

宗門では、あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献することを目的として、2012(平成 24)年度より「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を推進しています。



本願寺ホームページより一部抜粋
(検索ワード:本願寺 実践運動)

▽「浄土真宗本願寺派宗制」前文〈抜粋〉

本宗門は、その教えによって、本願名号を聞信し念仏する人々の同朋教団であり、あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献するものである。

▽「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

総合基本計画・重点プロジェクト

1. 総合基本計画

宗門(浄土真宗本願寺派)では、1986(昭和61)年より「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ、「基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)」を進めてまいりました。全員聞法・全員伝道を提唱する門信徒会運動では、教化団体の活性化や門徒推進員の養成などを通して、組・教区活動を活発化させてきました。また、同朋運動は、私と教団のあり方を問い、部落差別をはじめとするあらゆる差別・被差別からの解放をめざすことを通して、人々の苦悩に向き合う活動を充実させてきました。

基幹運動の成果と課題を踏まえ、さらに教えを広く世界に伝えていくこと、また従来の枠組みを超えた多様な活動を、より広く実践していくことをめざし、宗門では、2012(平成24)年4月から、運動名称を「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)とあらため、宗門全体の活動として進めています。

＜推進期間 2020年度～2023年度＞一部抜粋

▽「運動」とは・・・『広辞苑』には「目的を達成するために活動すること」とある。

めざす 目標に向かって 続けていくこと

§ 門信徒教化部関連情報

◆2020年度「門徒推進員中央教修」開催中止 (本願寺ホームページ宗派ニュース 2020.05.01 より)

・「2020(令和2)年度「門徒推進員中央教修」開催中止のお知らせ」

2020(令和2)年2月19日付で、本年度の「門徒推進員中央教修」について、開催期日のお知らせをしておりますが、連日、テレビで報道されております通り、新型コロナウイルス感染症の国内感染が拡大しております現状に鑑み、本年度全ての開催を中止させていただくこととなりました。

「中央教修」は、受講者にご高齢の方が多く、プログラム中の要である「話し合い法座」等、今問題となっている「密閉、密集、密接」の三密の中でこそ、得るものが大きい特徴があり、また、新型コロナウイルス感染症が収束に向かう、もしくは治療薬・ワクチンが有効となるまでに時間を要する現状などから、1年繰り延べとさせていただくことといたしました。

つきましては、2021(令和 3)年度の開催に向けて、十分な準備を進めてまいりたいと存じますので、来年度の門徒推進員中央教修開催の折には、皆さまのご参加をお待ちしております。

◆本願寺ホームページに、「連研」・「中央教修」に関わる紹介コーナーが誕生(11月5日スタート)

ホーム>寺院関係者の方へ>「連研」・「中央教修」 (検索ワード: 本願寺 連研)

▽パンフレット「門徒推進員中央教修のすすめ」→



▽「中央教修」受講奨励用 映像



本願寺ホームページからも
PDFをダウンロードできます

▽『「連研 12 の問い」による話し合い法座をすすめるために」文章掲載

全国の各組で開催されている「門徒推進員養成連続研修会(連研)」が、感染拡大を続けている新型コロナウイルス感染症の影響で、開催を中断せざるを得ない状況が続いています。

昨今の状況は、感染拡大防止のためのさまざまな配慮を行うことで、すでに各現場において「連研」を再開してくださったり、再開に向け準備を行っていただいたりとさまざまですが、従前のように開催いただくには、今しばらくは時間を要するものと考えます。

このようなコロナ禍の状況にあって「連研」にご参加のみなさまはもとより、連研開催に関わってくださっている僧侶・門徒推進員をはじめとする連研スタッフのみなさま、さらには連研修了者のみなさまが、改めて「連研 12 の問い」に対しての学びを深めていただく一助として、また、すべての宗門に関わるみなさまが「連研」について理解していただくためにも、浄土真宗本願寺派公式 WEB サイトに『「連研 12 の問い」による話し合い法座をすすめるために』を掲載することといたしました。(中略)

この文章が、皆さまの学びを深められるための一助となり、ひいては「連研」を継続する取り組みの原動力となればと期待するものです。

本願寺ホームページより一部抜粋

◆『連研ノートE<改訂版>』(2020年3月発行)について

- ・「ご親教『念仏者の生き方』から学ぶ〔講義概要〕」の追加
- ・「12の問い」、問い12を変更「〈自他ともに心豊かに生きる〉とはどのようなことでしょうか」から「念仏者の生き方とはどのような生き方なのでしょうか」へ
- ・サブテーマ(問い2、問い5、問い9)の検討

§ With コロナ時代の連研を考える

◆連研再開事例<奈良教区連研の場合>

▽新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期

予定していた第11回(4/5)・第12回(6/7)・修了式(7/5)を延期

▽再開までの経緯

- ・スタッフが書いた文章と、『大乘』『レッツ連研』掲載記事を月1回、参加者に配布
- ・参加者全員に意思を確認、同意を得て再開へ

▽ガイドラインに従って再開 第9期教区連研 第11回(8/2) 第12回・修了式(10/4)を実施する

兵庫教区教務所・本願寺神戸別院

YouTube チャンネルにて

「コロナ禍でのお寺参りのガイドライン」公開中



新型コロナウイルス感染症についてのお問い合わせはこちらへ

◆新型コロナウイルス感染症対策相談窓口

(その他、「県対処方針」、「ひょうごスタイル」等に関するご相談)

新型コロナ追跡システムコールセンター

電話:078-362-9858

受付時間:平日 午前9時～午後5時

◆オンライン(リモート)連研??

▽築地アカデミーで実施した オンライン話し合いの場合

・ライブ配信講座(TSUKIJI アカデミー) 9月30日19:00～20:30 <<ライブ配信>>

仏教ワークショップ～お坊さんと考えよう～

→zoom(ズーム)を使った単発の話し合い法座

▽zoom「ブレイクアウトルーム」の紹介 (検索ワード:ブレイクアウトルームとは)

▽オンライン化するためには・・・

- ・参加者への事前・事後の案内メールや開始時の不具合対応など、インターネットやPC操作に慣れた担当者が必要。また、当日もPC操作に慣れた担当者がホストを務める必要がある。
- ・参加者がアクセスするための媒体の問題 PCかスマホか/zoomダウンロード設定手順/zoomカメラマイク設定手順など操作資料作成が必要になる。
- ・当日の流れ(スタッフノート作成)を明確にすること。スタッフもオンラインで参加する場合は、すぐに連絡が取れるような別のオンライン回線を使う必要がある。
- ・配布資料(ダウンロード用のデータをメールなどで事前にお知らせ)や、オンライン中のスライド等(パワーポイントなど)を作成して見える化が必要になる。
- ・進行や記録、班報告などをどうするか話し合い法座の運営方法。

開催側がクリアしなければならないハードルが多数ある。

さらに、参加者のハードルは別問題で、アクセスできないなどの

問題が起こる可能性は不安要素です。

サポート体制がないと難しいが・・・。

